

FIG. 1, ATC-XP; ATC-SPORT; HFM

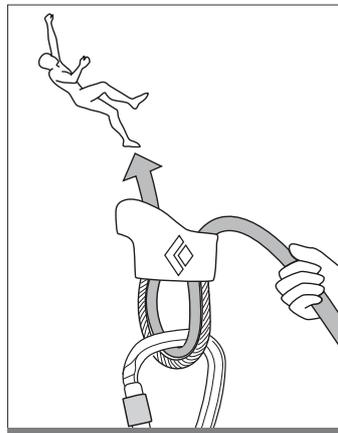


FIG. 2, ATC-XP; ATC-SPORT; RFM

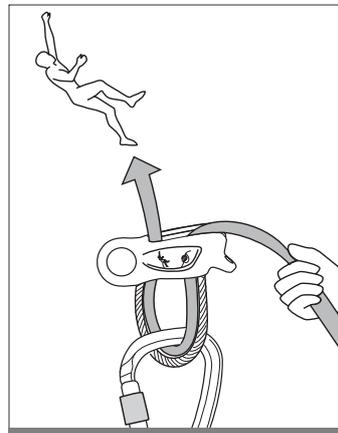


FIG. 3, ATC-GUIDE; HFM

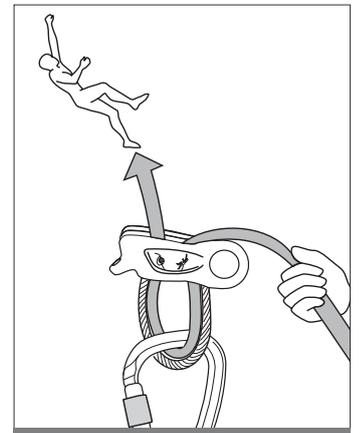


FIG. 4, ATC-GUIDE; RFM

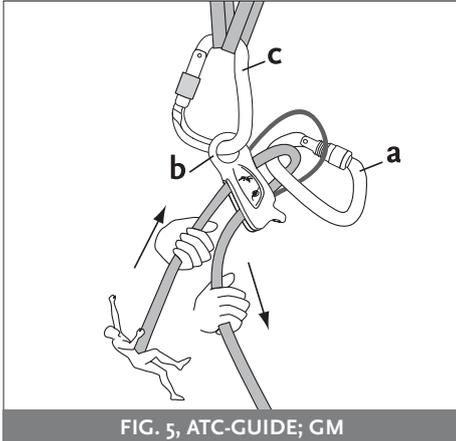


FIG. 5, ATC-GUIDE; GM

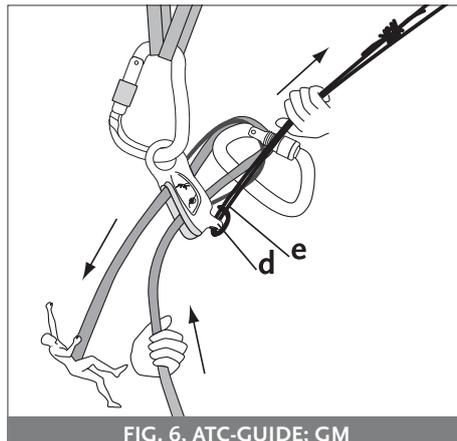


FIG. 6, ATC-GUIDE; GM

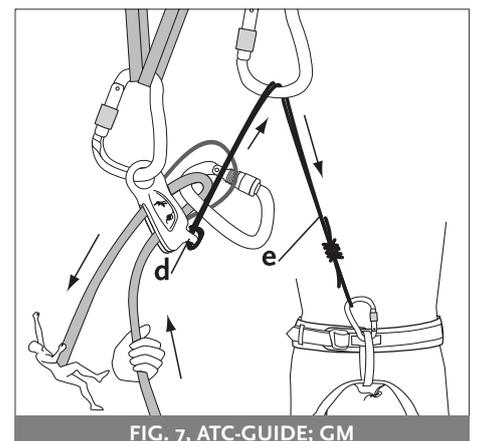


FIG. 7, ATC-GUIDE; GM

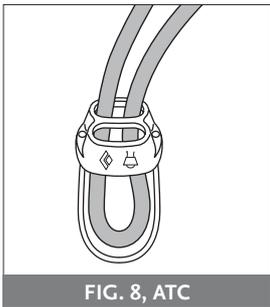


FIG. 8, ATC

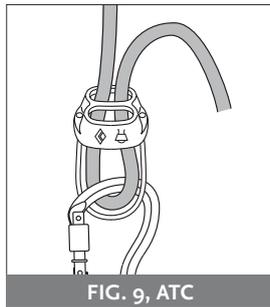


FIG. 9, ATC

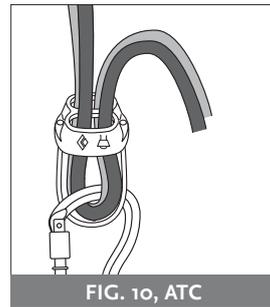


FIG. 10, ATC

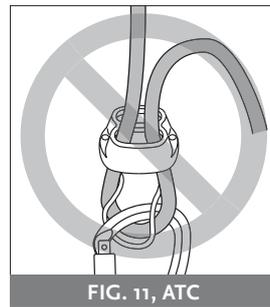


FIG. 11, ATC

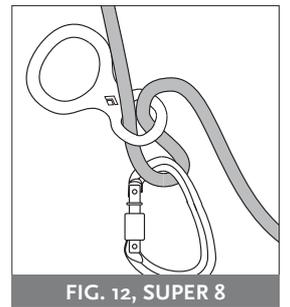


FIG. 12, SUPER 8

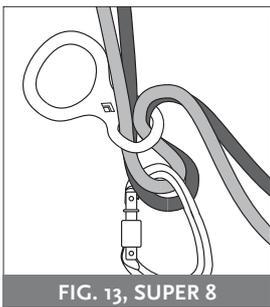


FIG. 13, SUPER 8

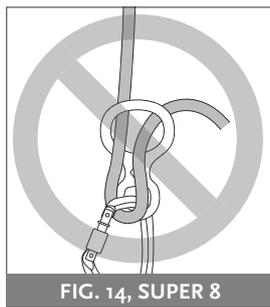


FIG. 14, SUPER 8

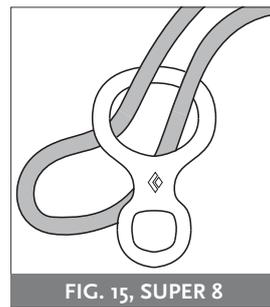


FIG. 15, SUPER 8

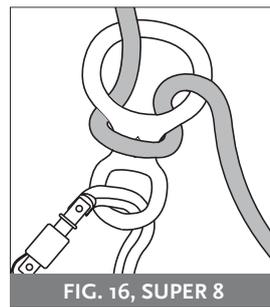


FIG. 16, SUPER 8

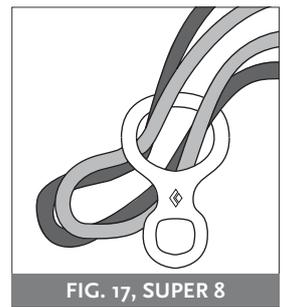


FIG. 17, SUPER 8

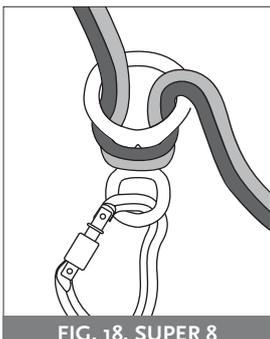


FIG. 18, SUPER 8

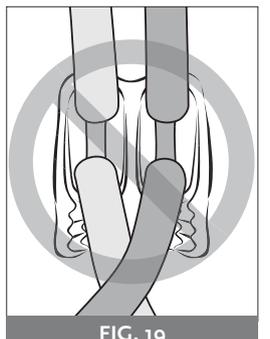


FIG. 19

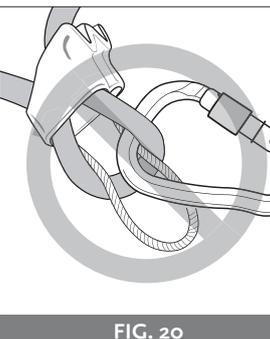


FIG. 20

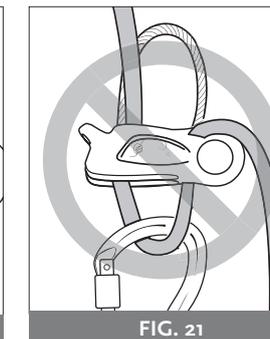


FIG. 21

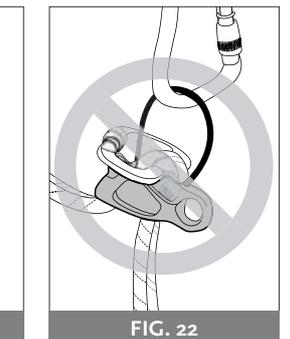


FIG. 22

ブラックダイヤモンド ビレイデバイス 取扱説明書

※本製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

▲ 警告

本製品はロッククライミング及び登山以外の用途には使用できません。ロッククライミング及び登山は危険を伴う行為です。そのことを事前に理解し、危険を受け入れることが決断です。また、その行為中の行動と必要は本人の責任において行って下さい。本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている使用方法と警告を理解し、製品の性能と限界を熟知しておいて下さい。全てのクライマーは適切な指導者から技術を習得することをお奨めします。ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

ビレイデバイスについて

ビレイは比較的単純な操作ですが完全な注意力と取り組みが要求されます。ビレイヤーはクライマーの墜落を止める役割を担い失敗は許されません。ビレイ/ラッペル時はどちらかの手で制動を掛けながらロープの流れを制御し、ブレーキハンドはどんな時でもロープから離さないで下さい。**警告**…細いロープを使ったビレイ/ラッペルは太いロープを使った時よりロープの流れが速く、制御がより難しくなります。適切な指導者にビレイとラッペルの動作を学び、常に最大限の注意を払って動作を行なって下さい。ATC-XP、ATC ガイド、ATC、ATC スポーツ、スーパー 8 はロッククライミング、アイスクライミング、登山専用のビレイ/ラッペルデバイスです。速度の速いラッペルや設計外の用途には使用しないで下さい。ロープの流れが速くなればなるほど器具が高熱になり、ロープやハーネスが溶けたりユーザーが火傷を負うおそれがあります。

ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツ

ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツは制動力の切替が可能なビレイデバイスでハイフクションモード (HFM) とレギュレーションモード (RFM) があります。HFM は細いロープのビレイ、シングルロープでのラッペル、ハンゴックのビレイ等、より強い制動力が要求される場合に使用して下さい。強い制動力を必要としない場合は RFM を使用して下さい。HFM では RFM の 2～3 倍の制動力が得られるため、ビレイ/ラッペルの状況に応じて適切な制動力を選ぶことができます。ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツは 7.7mm～11mm 径のロープに対応します。ロープは用途に従って使用して下さい。

HFM と RFM の使い方

ATC-XP、ATC ガイドはシングル/ダブル/ツインロープに対応します。ATC スポーツはシングルロープ専用です。**1.1** 本または 2 本のロープを U 字形にして ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツの穴に通して下さい。ワイヤーケーブルが付いていない方から通して下さい。**2.1** U 字形に通したロープと ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツのワイヤーケーブルの両方を、ハーネスに取付けたロックンクカラビナにクリップして下さい。HFM の場合、クリート (V 字型の溝) がブレーキハンド側になります (イラスト 1、3)。RFM ではクリートの無い方がブレーキハンド側になります (イラスト 2、4)。**3.** ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。**4.** 制動を掛ける時は、ブレーキハンドでしっかりロープを握り下向きに引して下さい。ATC-XP、ATC ガイド、ATC スポーツのクリートもしくはエッジにロープが押しつけられることで摩擦が発生し、ロープの流れを制御したり墜落を止めたりラッペルすることができます。
※ ATC ガイドには 1～2 人の後続クライマーを上からビレイできるガイドモード (GM) があります。GM を正しく使うことで 1～2 人の後続クライマーの墜落を同時に止めることができます。

ガイドモードの使い方 (ATC ガイド)

1. メタルアイ (b) にロックンクカラビナ (c) をクリップしてビレイアンカーにセットして下さい (イラスト 5)。**2.** ロッキングカラビナ (c) のロックングスリーブを締めて下さい。**3.** U 字形にしたロープを、ワイヤーケーブルの付いていない方から ATC ガイドに通して下さい。HFM で使う時と同様に通して下さい。つまり、クライマー側のロープが上になり、メタルアイに近接してなければなりません (イラスト 5)。**警告**…正しく器具に荷重されていることをチェックして下さい。正しく荷重されていないとロープの流れをロックすることはできません。

4. ループ状にしたロープと ATC ガイドのワイヤーケーブルの両方をロックンクカラビナ (a) でクリップし、ロックンクカラビナ (a) のロックングスリーブを締めて下さい (イラスト 5)。**5.** ロープがたるまないように両手でたぐりながらビレイして下さい (イラスト 5)。クライマーがテンションを掛けると ATC ガイドがロックします。1 人のクライマーがテンションを掛けた状態でも、もう 1 人のクライマーを引き上げることができます。**警告**…どんな場合でもブレーキハンドをロープから放さないで下さい。ATC ガイドに髪の毛や衣服が噛んでいないかをチェックして下さい。2 本のロープを ATC ガイドに通す時は同じ方向から通して下さい。凍ったロープはガイドモードの制動力を低下させます。**注意**…HFM でのビレイはオートロックデバイス程では無いし、ろくクライマーとプロテクションへの衝撃を増加させます。プロテクションが不安定なルートでは RFM でのビレイをお勧めします。

ガイドモードでクライマーをローダウンさせる方法 (ATC ガイド)

マルチピッチルートにおいてガイドモードの ATC ガイドを少し引き上げてロック解除することで、後続クライマーをローダウンさせることができます。**1.** スリング、細引き、ナッツ等 (e) をリリースホール (d) に通して下さい (イラスト 6)。**警告**…リリースホールをロック解除以外の用途に使わないで下さい。ローダウンの操作中は常にブレーキハンドを離さないで下さい。**2.** 後続クライマーの体重によっては、リリースホールに通したスリング類を引き上げるだけでロックが解除し、クライマーを降ろすことができます (イラスト 6)。**警告**…ATC ガイドのロックを解除する前にブレーキハンドをしっかり握って下さい。解除と同時にロープが急激に流れるおそれがあります。**3.** ATC ガイドの角度を調整しながらブレーキハンドでロープの流れを調整し、クライマーをローダウンさせて下さい。安全性を高めたい時はバックアップとして二次的なビレイを取って下さい。**4.** ATC ガイドを引き上げるのが困難な場合はビレイアンカーにカラビナを掛け、リリーススリングをカラビナに通して体重を掛けてみて下さい (イラスト 7)。この場合、リリーススリングの長さを延長して下さい。**警告**…ATC ガイドのロックを解除する前にはブレーキハンドをしっかり握って下さい。特に 4 の手順では、しっかりと握っていないとロック解除と同時にロープが急激に流れてしまい大変危険です。**5.** 後続クライマーの下降を止めたい時はリリーススリングから体重を抜き、ブレーキハンドを強く握って下さい。

ATC

7.7mm～11mm 径のロープに対応します。

ATC の使い方

1.1 本もしくは 2 本のロープを U 字形にして、ATC の小さい方の穴から通して下さい (イラスト 8)。**2.** U 字形に通したロープと ATC のワイヤーケーブルの両方を、ハーネスに取付けられたロックンクカラビナにクリップして下さい (イラスト 9、10)。**3.** ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。**4.** ワイヤーケーブルの摩擦を防ぐためにロープとワイヤーケーブルが交差していないことを確認して下さい (イラスト 11)。

スーパー 8

ブラックダイヤモンド、スーパー 8 はベジックな「イト環」デザインに改良を加え、軽さと使い勝手を向上させたビレイ/ラッペルデバイスです。スーパー 8 は従来のイト環と同様、小さい方の穴を使ってビレイプレートとして使用できます。9mm 径までのダブルロープ、11mm 径までのシングルロープに対応します。

スーパー 8 を使ったビレイの方法

1.1 本もしくは 2 本のロープをループにして、スーパー 8 の小さい方の穴に通して下さい。**2.** ロープのループを、ハーネスに取付けたロックンクカラビナにクリップして下さい (イラスト 12、13)。**3.** ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。**警告**…スーパー 8 の大きい方の穴を使ってビレイしないで下さい (イラスト 14)。

スーパー 8 を使ったラッペルの方法

1. ロープを U 字形にしてスーパー 8 の大きい方の穴に上から通して下さい (イラスト 15、17)。**2.** ロープのループにスーパー 8 の小さい方の

のリングをくぐらせ、ロープをステム部分 (8 の字のくぼんだ部分) に沿わせて下さい。**3.** スーパー 8 の小さい方の穴を、ハーネスに取付けたロックンクカラビナにクリップして下さい (イラスト 16、18)。**4.** ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。**5.** ロープがステム部分に沿わせてあることを確認して下さい。大きい穴だけにロープを通してカラビナに掛けることは絶対にしないで下さい。

警告

◆ビレイ/ラッペルの正しい方法を習得するために、適切な指導書を読み、十分に練習して下さい。誤った方法でビレイ/ラッペルを行うと、死亡や重傷を負う可能性があります。この取扱説明書はビレイデバイスの正しい使い方と限界について解説したものです。ビレイ/ラッペルの技術について解説するものではありません。◆ビレイデバイスの機能を効果的に発揮するために、ロープを正しく通し、どんな時でもブレーキハンドでロープをしっかりと握って下さい。墜落を止めるのはあなたの役割であるということを決めておいて下さい。◆ロープが濡ったり泥が付いたり凍っている場合、ビレイデバイスの制動力と保持力は低下します。このような状況では、ビレイデバイスの種類を問わず、細心の注意を払って操作を行って下さい。◆全てのハーネスには違いがあります。ハーネスにビレイデバイスを取付ける際は必ずロックンクカラビナを用い、取付けは各ハーネスの取扱説明書に従って下さい。◆この取扱説明書で説明している以外の方法でロープを通さないで下さい。◆どのビレイデバイスを使う時も、ロープ同士が交差しないようにして下さい (イラスト 19)。ATC-XP、ATC ガイド、ATC、ATC スポーツを使う時は、ロープとワイヤーケーブルが交差しないようにして下さい (イラスト 20)。**◆**ビレイデバイスをロッククライミングやアイス/ミックスクライミングのプロテクションとして使わないで下さい。**◆**ここに掲載されているビレイデバイスはソロクライミングには使用できません。**◆**ATC-XP、ATC ガイド、ATC を逆向きで使用しないで下さい (イラスト 21)。**◆**ATC-XP、ATC ガイド、ATC のケーブルだけをアンカーにクリップすることはしないで下さい (イラスト 22)。**◆**使用中に髪の毛、衣服の裾、制動している手などが器具に巻き込まれないようにして下さい。**◆**ここに掲載されているビレイデバイスで高速の懸垂下降を行わないで下さい。器具が熱くなってロープの外被やハーネスを焦がしたり、ユーザーが火傷を負うおそれがあります。**◆**傷んだロープや外被に緩みのあるロープをビレイすると、外被がずれてたるみが発生し、ビレイデバイスに噛んでしまうおそれがあります。

点検と寿命

使用する前後に破損や磨耗がないか必ず点検して下さい。全てのクライミングギアに寿命があります。以下のような場合は使用をやめて破棄して下さい。**1.** ロープとの摩擦で著しくすり減ったり溝ができています。**2.** 本体にクラック、欠損が見られたり、ロープ接触面にバリ、曲がり、溝が見られる。**3.** ワイヤーケーブルが擦り切れたりほつれたりしている。**4.** 腐食が見られる。**5.** 高い場所から落としてしまった。ビレイデバイスにいかなる改造も加えないで下さい。一度でも改造を加えたビレイデバイスはダメージを受けたものとみなし使用しないで下さい。信頼性に少しでも不安を感じる場合は、使用をやめて下さい。破棄する時は再使用されないように破棄して下さい。

手入れと保管

1. 直射日光の当たらない、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。**2.** ラジエーターやストーブなど熱源の近くに保管しないで下さい。**3.** バッテリー液や溶剤など腐食性の薬品に触れないようにして下さい。**4.** 潮風に晒したり海水に浸けてしまったら冷水で十分にすすいで下さい。

中古品について

中古品を使用しないで下さい。道具を信頼して使うためには使用履歴を把握している必要があります。中古品は安い価格で購入できるかもしれませんが、信頼性のある新品の代用にはなりません。

1 年間保証

ご購入いただいた日から 1 年間、第一購入者に限り、品質もしくは製造上の欠陥が見つ

かった場合無償交換いたします。欠陥が見つかった場合、ご購入店にお持ち込みいただくか、輸入代理店に直接お送り下さい。製品を無償にて新品交換いたします。無償交換をこの保証における責務の上限とし、保証期間の満了とともに、その責務も終了するものとします。

保証の対象外

以下のケースは 1 年間保証の対象外となります。通常の摩擦、認められていない改造や変更、不適切な使い方と手入れ、事故、誤用、不注意、目的外の使用。

ブラックダイヤモンド日本総代理店

株式会社ロスタートロー

〒350-2213

埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

TEL:049-271-7113 (ユーザーサポート)

e-mail: info@lostarrow.co.jp

www.lostartarrow.co.jp